職業訓練教材コンクールの概要

１　趣旨・目的

職業訓練教材コンクール（以下「教材コンクール」という。）は、全国の公共職業能力開発施設等において人材開発に携わっている方々が、訓練の現場や実践する場面において、日々の創意工夫により製作・開発した教科書や映像、シミュレータなどの教材を募集し、その応募教材作品の中から、特に優秀な作品については「厚生労働大臣賞」等の受賞教材作品として選定している（昭和48年度より実施）。受賞教材作品については、全国の職業訓練指導員の指導技法の向上を図るとともに、人材開発の推進に資することを目的として、ホームページ等を通じて職業訓練関係者等に広く周知している。なお、昭和49年度以降は「職業能力開発論文コンクール」と、それぞれ隔年で実施しており、教材コンクールとしては、今回の令和８年度で第28回を迎える。

２　主催

厚生労働省
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
中央職業能力開発協会

３　表彰の種類

厚生労働大臣賞（特選）
厚生労働大臣賞（入選）
特別賞
・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構　理事長賞
・中央職業能力開発協会　会長賞

４　教材の応募状況及び表彰受賞状況

（1）応募教材作品数

令和4年度	94　件
令和6年度	86　件
令和8年度	97　件

（2）受賞作品数（令和8年度）

厚生労働大臣賞（特選）	1　作品
厚生労働大臣賞（入選）	3　作品
特別賞（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長賞）	5　作品
特別賞(中央職業能力開発協会 会長賞)	5　作品